

避難所では係の人の指示に従いましょう。
安全なルートで！
集団で助け合おう！
外出中の家族には、連絡メッセを残そう！
持ち出し品は最小限に！
車での避難は控えて！
自分の住所、氏名、連絡先などを記載した防災メッセを持とう！
状況により、すばやく避難しましょう！

災害発生時の心得
災害情報の種類
気象庁が発表する災害情報には以下のような種類があります。
正しい情報を入手し避難行動の判断に役立てましょう。
注意報 → 警報 → 特別警報
土砂災害警戒情報
はん濫警戒情報

市から出される避難情報ととるべき行動
避難が必要な場合は市が避難情報を発表します。避難情報が発表される前でも、危険を感じたら自主的に避難してください。
警戒レベル4までに必ず避難！
警戒レベル3 高齢者等避難
警戒レベル4 避難指示
警戒レベル5 緊急安全確保

市からの情報は防災行政無線、エリアメールで届けられます。そのほか、テレビ、ラジオ、インターネットなどからも情報を得ることができます。
防災行政無線
テレビ
パソコン
ケータイ

地震が発生したらまず身の安全を確保！
被害を小さくするためには
いっ地震が発生しても対応できるように、家屋の耐震化や家具の転倒防止、配置の工夫を行うことが重要です。
火気を使用している場合は、すぐに火を消してその場から離れる。
あわてて外に飛び出さない
ドアや窓を開けて、出口を確保する

地震発生時の心得
災害から身を守る知識と備え
地震だ！ どうしよう？
避難場所ってどこだっけ？
いつ避難したら良いの？
災害のための準備、何をしたら良いだろう？
ひと瞬が経てると大変かな...

葛城市地域防災マップ
葛城市HP
奈良県HP
奈良県HP
上記から最新情報を確認できます。

こんな場所には注意しましょう
こんな場所には注意しましょう
水位にかなわらず、浸水箇所はとも危険です。
このような場所には近づかないよう注意しましょう。
運動靴などで避難する
長靴は水が入ると動きにくくなるため厳禁！
浸水している場所を歩くときは棒などを使い、足元を確認する

風水害発生時の心得
わが家の防災メモ
連絡先一覧
家族で決めた集会所

災害用伝言サービス
災害発生時は電話が繋がりにくくなります。災害用伝言サービスを活用して安否を確認しましょう。
災害用伝言ダイヤル
災害用伝言板サービス
●いざという時の連絡先
火事・救急119番 警察110番

出血がひどかったら...
呼吸がなかったら...
AEDの設置場所は、必ず事前に確認してください。
救急隊の到着もしくは傷病者の反応が出るまで続けます。
※AEDが届けば直ぐにAEDを使用します。

事前の備え
家族防災会議
いざという時に落ち着いて行動できるように、日ごろから家族で話し合っておきましょう。
家の中でどこが一番安全か
指定緊急避難場所
指定避難所
最短距離より、安全なルートを全員で考える。
指定避難所の中で迷わないよう、自分たちの集会所を決めておく。
家族の食料を1週間分 備蓄する。

非常持ち出し品
いざという時は、ただちに避難しなければなりません。そのため、非常持ち出し品を常備し、リュックサックなどにまとめましょう。
非常持ち出し品の目安は男性で15キロ、女性で10キロ程度です。
食品関係
日用品
救急・安全関係
その他